Press Release

【報道関係各位】

POLA MUSEUM OF ART

2026 年 11 月 25 日
ポーラ美術館

ポーラ美術館 2027 年 展覧会スケジュールのご案内

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）は、印象派を中心としたアジア有数の西洋近代絵画コレクションを核に、現代美術の第一線で活躍する作家の紹介や、美術史上の重要な作品の収集・公開に取り組んでいます。
2027 年は、開館 25 周年を記念する企画展の第 2 弾として「リフレクション―アートは世界を映しだす：印象派から現代美術」を開催いたします。また第 3 弾として、12 月からは、イギリス人作家オリヴァー・ビアによる、日本の美術館での初個展を開催いたします。

開館 25 周年記念「リフレクション―アートは世界を映しだす：印象派から現代美術」

会期：2027 年 4 月 27 日（火）～11 月 25 日（木）



草間彌生《無限の鏡の間――求道の輝く宇宙の永遠の無限の光》2020 年、ポーラ美術館
©YAYOI KUSAMA　Photo：Ken Kato　※画像転載不可

いつの時代も、アーティストたちは周囲の環境や社会と関わり、自らの精神や感情に向き合いながら、この世界のさまざまなものをアートのなかに映しだし、表現します。私たちもまたその作品に出あい触れることで、心をゆさぶられてきました。アートは、世界を映しだすと同時に、移り変わる私たち鑑賞者の心をも反映し、その豊かな関係性は無限にひろがっていくのです。
本展では、この「リフレクション」をテーマとして、初公開となる新収蔵作品を含むポーラ美術館のコレクションを中心とした近現代美術を、新たな視点で紐解きます。印象派から 20 世紀に至る近代美術の巨匠たちによる作品をはじめ、ガラスや鏡を用いたゲルハルト・リヒターの近作、草間彌生による没入体験をもたらすインスタレーション、現代のアーティストたちによる映像やパフォーマンスなど、約 20 作家による作品が空間のなかで時代を超えて響き合います。

POLA MUSEUM OF ART

会場：ポーラ美術館 展示室 1、2、3（予定）
主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
企画：近藤萌絵（ポーラ美術館 学芸員）
国枝かつら（ポーラ美術館 学芸員）
東海林洋（ポーラ美術館 学芸員）

おもな出品作家（予定）：
クロード・モネ、オディロン・ルドン、ポール・ゴーガン、フィンセント・ファン・ゴッホ、ヴィルヘルム・ハマスホイ、アンリ・マティス、パブロ・ピカソ、マルク・シャガール、サルバドール・ダリ、ルイーズ・ブルジョワ、草間彌生、ゲルハルト・リヒター、森村泰昌、シンディ・シャーマン、ヴォルフガング・ティルマンス、志賀理江子、久門剛史、contact Gonzo ほか



マルク・シャガール《私と村》1923-1924 年頃、ポーラ美術館
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 C5645

「リフレクション―アートは世界を映しだす」同時開催　HIRAKU Project Vol.18 大和田俊

HIRAKU Project は、美術の表現と美術館の可能性を「ひらく」ため、ポーラ美術振興財団の「若手芸術家の在外研修助成」を受けた作家の活動を紹介する展覧会シリーズです。第 18 回目となる今回は、音を素材に制作を続けるアーティスト大和田俊を取り上げます。
大和田はこれまで、石灰岩、炭酸水、ハウリングなどの素材や現象を用いつつ、音を発生させる物質と機構そのものに関心を向けてきました。本展では、音が鳴るまさにその瞬間を提示することで時空間の経験を揺さぶる、新作インスタレーションを発表します。



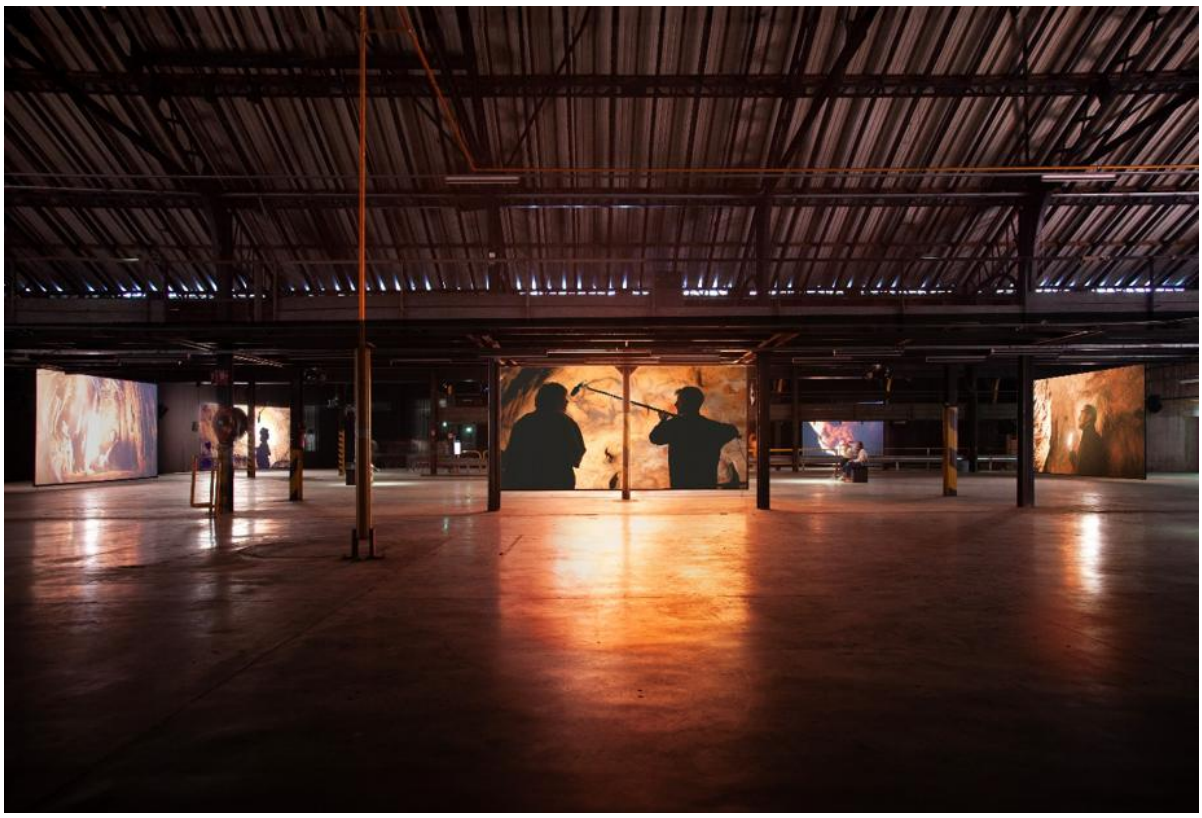
大和田俊《I like organs》2023 年　展示風景：「エナジー・イン・ルーラル」ACAC、2023 年
Photo: Ryohei Tomita

会期：2027 年 4 月 27 日（火）～11 月 25 日（木）
会場：ポーラ美術館　1F　アトリウム ギャラリー
主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
企画：伊澤拓人（ポーラ美術館 学芸員）

POLA MUSEUM OF ART

開館 25 周年記念「オリヴァー・ビア：The Cave」

会期：2027 年 12 月 11 日（土）～2028 年 5 月【仮】



オリヴァー・ビア《Resonance Project: The Cave》2024 年　展示風景：リヨン・ビエンナーレ、2024 年
© Oliver Beer　Photo: Oliver Beer Studio

紀元前 1 万 5 千年、人類最初期の壁画が描かれたフランス・ドルドーニュの洞窟に、日本を含む世界各地から 8 名の歌手が集められました。彼／彼女らが歌うのは、最も古い記憶に刻まれた歌。子守唄、民謡、霊歌といったさまざまな旋律は、洞窟そのものがもつ固有の響きに調律されて次第に混ざり合い、旧石器時代から現代までをつらぬく重層的な響きが空間全体を満たしてゆきます。
展示室全体に配置された 8 面の巨大な映像と、16 チャンネルの音響で構成されるこの没入型のヴィデオ・オペラは、美術館を太古の洞窟へと変貌させ、鑑賞者を人類の原点へ、芸術のはじまりへと誘います。開館 25 周年を記念して、オリヴァー・ビアの最高傑作をご紹介します。

会場：ポーラ美術館 展示室 2、3、5（予定）
主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
企画：鈴木幸太（ポーラ美術館 主任学芸員）、伊澤拓人（ポーラ美術館 学芸員）

オリヴァー・ビア　Oliver Beer
1985 年生まれ、ロンドンおよびパリ在住。アーティスト、作曲家。絵画、映像、インスタレーション、建築への介入を通じて、音の物理的な形態の表現や、事物・身体・空間がもつ音楽性を探求している。ビアの実践は「聴くこと」を知覚の中心に据え、人と場所をつなぐ隠されたハーモニーを浮かび上がらせる。近年はメトロポリタン美術館（2019 年）、パリ市立近代美術館（2025 年）等で個展を開催。その他ポンピドゥ・センター、MoMA PS1 等で作品を発表。シドニー、イスタンブール、リヨン、ヴェネツィアの各ビエンナーレにも参加している。

■開催中の企画展

モネ没後 100 年・開館 25 周年記念「あたらしい目―モネと 21 世紀のアート」
会期：2026 年 6 月 17 日（水）～2027 年 4 月 7 日（水）会期中無休　※12 月 1 日（火）は休館

■ポーラ美術館について



2002 年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から 20 世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も収集・展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285
TEL：0460-84-2111　公式ウェブサイト：https://www.polamuseum.or.jp/

＜報道関係者お問合わせ先＞
ポーラ美術館　広報担当：小野、稲見　TEL:0460-84-2111
ポーラ美術館広報事務局：小沢、嶋田　TEL:03-5572-7351（株式会社プラチナム内）
E-mail: polamuseum-pr@vectorinc.co.jp

POLA MUSEUM OF ART

ポーラ美術館 2027 年 展覧会スケジュール　広報用画像　　**2026/11/25 現在**

・ご使用の際は下記作品情報ならびにクレジットを併記の上、全図で掲載してください。
・部分使用やトリミング、文字を重ねるなどの加工、改変はできません。
・利用後、画像データは速やかに破棄してください。
・**リフレクション展メインビジュアル（紙媒体へのご使用）／草間彌生／マルク・シャガール作品画像をご希望の方は、別途フォームより申請をお願いいたします。**
　各画像の申請時に必要な情報に関しましては、フォーム内をご確認ください。

「リフレクション―アートは世界を映しだす：印象派から現代美術」

紙媒体へのご使用は要申請

「リフレクション―アートは世界を映しだす：印象派から現代美術」
メインビジュアル
※展覧会名、会場、会期などの基本情報とともにご使用ください。
　Web 媒体へのご使用に際しては、申請は不要です。





要申請

草間彌生《無限の鏡の間――求道の輝く宇宙の永遠の無限の光》2020 年、ポーラ美術館
©YAYOI KUSAMA　Photo：Ken Kato
※Web 媒体へのご使用に際しては、「画像転載不可」と併記してください。



要申請

マルク・シャガール《私と村》1923-1924 年頃、ポーラ美術館
※画像データとともにお送りするクレジットを併記してください。



志賀理江子、タイトル未定、2025 年、作家蔵



ヴィルヘルム・ハマスホイ《陽光の中に読書する女性、ストランゲーゼ 30 番地》1899 年、ポーラ美術館



HIRAKU Project Vol.18 大和田俊

大和田俊《I like organs》2023 年
展示風景：「エナジー・イン・ルーラル」ACAC、2023 年
Photo：Ryohei Tomita



開館 25 周年記念「オリヴァー・ビア：The Cave」

オリヴァー・ビア《Resonance Project The Cave》2024 年
展示風景：リヨン・ビエンナーレ、2024 年 © Oliver Beer
Photo：Oliver Beer Studio



オリヴァー・ビア《Resonance Project The Cave》2024 年
展示風景：リヨン・ビエンナーレ、2024 年 © Oliver Beer
Photo：Oliver Beer Studio



オリヴァー・ビア
《Resonance Project The Cave》（映像スチル、出演：メリッサ・ラヴォー）、2024 年
© Oliver Beer
Photo：Oliver Beer



ポーラ美術館　外観



＜報道関係者お問合わせ先＞
ポーラ美術館　広報担当：小野、稲見　TEL:0460-84-2111
ポーラ美術館広報事務局：小沢、嶋田　TEL:03-5572-7351（株式会社プラチナム内）
E-mail: polamuseum-pr@vectorinc.co.jp